

2025年3月23日（日）日本語文法学会

ワークショップ「日本語の主題と焦点—言語対照の視点から—」

# 中国語から見た 日本語の主題と焦点

井上 優  
(日本大学)

# 「主題」と「焦点」

- 「主題」は文の中で「それについて述べる」ということを表す部分。
- 「焦点」は文の中で「それをいちばん述べたい」ということを表す部分。

# この発表で述べること

- I 日本語も中国語も「主題中心」の言語。  
主題を持つ文と主題を持たない文が文法的に区別される。
- II 日本語も中国語も「焦点中心」の言語ではない。  
焦点を持つ文と焦点を持たない文の区別は、文法的には明確ではない。
- III 日本語と中国語では「何を主題にするか」が異なる。  
日本語：文の情報構造において旧情報の部分。  
中国語：叙述の対象となる、名詞句レベルで既知のもの。

# この発表で述べること

- I 日本語も中国語も「主題中心」の言語。  
主題を持つ文と主題を持たない文が文法的に区別される。
- II 日本語も中国語も「焦点中心」の言語ではない。  
焦点を持つ文と焦点を持たない文の区別は、文法的には明確ではない。
- III 日本語と中国語では「何を主題にするか」が異なる。  
日本語：文の情報構造において旧情報の部分。  
中国語：叙述の対象となる、名詞句レベルで既知のもの。

# 日本語と中国語の主題表示

- 「主題」は文の中で「それについて述べる」ということを表す部分。
- 日本語・中国語ともに「主題」表示の文法的手段を持つ。

日本語：助詞「は」

中国語：構文（文頭位置）

# 日本語と中国語の主題表示

- (1) a. 私は<sub>主題</sub> あなたの手紙を受け取った。(主語が主題)  
b. 我<sub>主題</sub> 收到 你的 信 了。  
私 受け取る あなたの 手紙 た
- (2) a. あなたの手紙は<sub>主題</sub> 受け取った。(目的語が主題)  
b. 你的 信<sub>主題</sub> (我) 收到了。  
あなたの 手紙 私 受け取った

# 中国語の構文と主題の有無

## ① 既知のものに叙述を加える文 (=主題を持つ文)

- (3) **客人**<sub>主題 (定)</sub> 已经 来了。 [既知の客がどうしたかを述べる]  
客                      すでに 来た  
( (来る予定の) 客はすでに来ている。 )

## ② 既知でないものの存在を表す文 (=主題を持たない文)

- (4) 来了 **一位 客人**<sub>非主題 (不定)</sub>。 (存現文) [来客があったことを述べる]  
来た お1人 客  
( 1人の客が来た。 )

# 中国語の構文と主題の有無

## ① 既知のものに叙述を加える文 (=主題を持つ文)

- (5) a. **太阳**<sub>定 (モノ)</sub> 出来了。 (既知の天体である太陽が出てきた)  
太阳 出てきた
- b. \*出来了 **太阳**<sub>定 (モノ)</sub>。 cf. Here comes **the sun**.  
出てきた 太阳

## ② 既知でないものの存在を表す文 (=主題を持たない文)

- (6) a. 出 **太阳**<sub>不定 (現象)</sub> 了。 (日の光なし⇒日の光あり)  
出る 日の光 た
- b. \***太阳**<sub>不定 (現象)</sub> 出了。  
日の光 出た



# 中国語の文頭位置は「主題」

- ・ 主題にならないものは文頭に置けない。

(7) a. \*1人の客<sub>不定</sub>は来た。

b. \*一位 客人<sub>不定</sub> 来了。  
お1人 客 来た

(8) a. 1人の客<sub>不定</sub>が来た。

b. 来了 一位 客人<sub>不定</sub>。

c. 有 一位 客人<sub>不定</sub> 来了。 (存現文の一種)  
ある お1人 客 来た

# 中国語の文頭位置は「主題」

- ・ 主題にならないものは文頭に置けない。

(9) a. \*1人の男の子<sub>不定</sub>は歌っている。

b. \*一个 男孩儿<sub>不定</sub> 在 唱歌。  
1人 男の子 進行 歌う

(10) a. 1人の男の子<sub>不定</sub>が歌っている。

b. 有 一个 男孩儿<sub>不定</sub> 在 唱歌。 cf. A boy is singing.  
ある 1人 男の子 進行 歌う

## 中国語の文頭位置は「主題」

- 定と不定の対立は文の構造ともさまざまに関わる。最も一般性の高い事例としては、一部の小説体の構文を除いて、**中国語の文の主語**には一般に**定**の名詞表現が用いられ、**不定**の名詞表現は用いられないという現象が挙げられる。このことは、**既知**の情報に属する**定**の存在を**主語**に立て、それについて**叙述**を展開するということかたちが中国語の文表現の常態であるということの意味する。 (木村 2021、p.431)

➡ この説明の「主語」は実質的に「主題」のこと。

## 中国語の文頭位置は「主題」

- 中国語では“那位客人来了” [例のお客様がいらした] としか言わず、“\*一位客人来了” [一人のお客様がいらした] とは言えない。しかし“有一位客人来了” [お一人お客様がいらした] ということはできる。文頭に“有” [ある] を加えると、“一位客人” は主語から“有” の目的語に変化し、これで、**主語は確定した事物を表す** という要求に抵触しなくなる。

(朱 (杉村・木村訳) 1995、p.123、一部補足)

➡ この説明の「主語」も実質的に「主題」のこと。

# この発表で述べること

- I 日本語も中国語も「主題中心」の言語。  
主題を持つ文と主題を持たない文が文法的に区別される。
- II 日本語も中国語も「焦点中心」の言語ではない。  
焦点を持つ文と焦点を持たない文の区別は、文法的には明確ではない。
- III 日本語と中国語では「何を主題にするか」が異なる。  
日本語：文の情報構造において旧情報の部分。  
中国語：叙述の対象となる、名詞句レベルで既知のもの。

# この発表で述べること

## I 日本語も中国語も「主題中心」の言語。

主題を持つ文と主題を持たない文が文法的に区別される。

## II 日本語も中国語も「焦点中心」の言語ではない。

焦点を持つ文と焦点を持たない文の区別は、文法的には明確ではない。

## III 日本語と中国語では「何を主題にするか」が異なる。

日本語：文の情報構造において旧情報の部分。

中国語：叙述の対象となる、名詞句レベルで既知のもの。

# 日本語と中国語の焦点表示

- 「焦点」は文の中で「それをいちばん述べたい」ということを表す部分。
- 日本語は「焦点」表示のために特定の文法的手段を使う必要がない。（音声的手段がかなり使える。）
- 中国語も、一部を除き、「焦点」表示のために特定の文法的手段を使う必要がない。（音声的手段は日本語ほど使えない。）

# 中国語の焦点表示

“是…的” 構文 (是 shì : だ、的 de : の)

過去の動作の特定の側面 (特に付加成分) の内容を指定する。

(11) (新宿駅で快速に乗り換えたことを知らせる)

我 在 新宿 换上 快车 了。 [動作の存在]

私 で 新宿 乗り換える 快速 た

(新宿で快速に乗り換えたよ。)

(12) (他の駅ではなく新宿駅で乗り換えたことを述べる)

我 (是) 在 新宿<sup>焦点</sup> 换的 快车。 [動作の解説]

私 だ で 新宿 乗り換える-の 快速

(私は新宿で快速に乗り換えた。)



# 中国語の焦点表示

“是…的” 構文 (是 shì : だ、的 de : の)

過去の動作の特定の側面 (特に付加成分) の内容を指定する。

すでに実現した動作行為について、その時点・方法・場所・動作主などに焦点を当ててその行為の実現方式を解説する構文。文中で焦点の当たる要素の直前に“是”を置き、述語動詞のあとに“的”を付けることから“是…的”構文と呼ぶ。 (王 2021、p.19)

(12) (他の駅ではなく新宿駅で乗り換えたことを述べる)

我 (是) 在 新宿<sup>焦点</sup> 换的 快车。 [動作の解説]  
私 だ で 新宿 乗り換える-の 快速  
(私は新宿で快速に乗り換えた。)

# 中国語における焦点表示の必要性

- 過去の動作の主語が焦点の場合は、そのことを文法的手段で示したり示さなかったりする。

(13) A : さっき誰が来た？

B : 王くんが来た。

(14) A : 刚才 谁 来了？

さっき 誰 来た

B : 小王 来了。

王くん 来た

# 中国語における焦点表示の必要性

- 過去の動作の主語が焦点の場合は、そのことを文法的手段で示したり示さなかったりする。

(15) A : さっきは誰が電話を受けたの？

B : 王くんが受けた。

(16) A : 刚才 (是) 谁 接的 电话？

さっき だ 誰 受ける-の 電話

B : (是) 小王 接的。

だ 王くん 受ける-の

# 中国語における焦点表示の必要性

- 未来の動作の付加成分が焦点の場合は、そのことを文法的手段で示す必要はない。

(17) A : 王くんは何時に来る？

B : 王くんは8時に来る。

(18) A : 小王 几点 来？

王くん 何時 来る

B : 小王 八点 来。

王くん 8時 来る

# 中国語における焦点表示の必要性

- 過去の動作の付加成分が焦点の場合は、そのことを文法的手段で示す必要がある。

(19) A : 王くんは何時に来た？

B : 王くんは8時に来た。

(20) A : \*小王 几点 来了？

王くん 何時 来た

B : \*小王 八点 来了。

王くん 8時 寝た

# 中国語における焦点表示の必要性

- 過去の動作の付加成分が焦点の場合は、そのことを文法的手段で示す必要がある。

(19) A : 王くんは何時に来た？

B : 王くんは8時に来た。

(21) A : 小王 (是) 几点 来的？

王くん だ 何時 来る-の

B : 小王 (是) 八点 来的。

王くん だ 8時 来る-の

# 中国語の文の意味と焦点表示

	文の意味のタイプ	構文
未来の動作	動作の存在を述べる	通常の動詞文
現在の動作		
過去の動作	記憶中にある動作について解説する	“是…的”構文

「是…的」構文の使用不使用は、文の意味のタイプで決まる。  
焦点の有無で決まるのではない。

# この発表で述べること

## I 日本語も中国語も「主題中心」の言語。

主題を持つ文と主題を持たない文が文法的に区別される。

## II 日本語も中国語も「焦点中心」の言語ではない。

焦点を持つ文と焦点を持たない文の区別は、文法的には明確ではない。

## III 日本語と中国語では「何を主題にするか」が異なる。

日本語：文の情報構造において旧情報の部分。

中国語：叙述の対象となる、名詞句レベルで既知のもの。



# この発表で述べること

- I 日本語も中国語も「主題中心」の言語。  
主題を持つ文と主題を持たない文が文法的に区別される。
- II 日本語も中国語も「焦点中心」の言語ではない。  
焦点を持つ文と焦点を持たない文の区別は、文法的には明確ではない。
- III 日本語と中国語では「何を主題にするか」が異なる。  
日本語：文の情報構造において旧情報の部分。  
中国語：叙述の対象となる、名詞句レベルで既知のもの。

# 「主題」と文の情報構造

- (22) a. 教室に **1人の学生が**<sub>非主題</sub> いる。〈旧情報なし〉  
b. 教室里 有 **一个学生**<sub>非主題</sub>。〈既知ではない学生の存在を述べる〉  
教室-中 存在する 1人 学生
- (23) [教室に太郎がいるのが見えた]  
a. 教室に **太郎が**<sub>非主題</sub> いる。〈旧情報なし〉  
b. **太郎**<sub>主題</sub> 在 教室。〈既知の「太郎」について述べる〉  
位置する 教室
- (24) [太郎の居場所を聞かれて]  
a. **太郎は**<sub>主題</sub> 教室に いる。〈「太郎」が文中の旧情報〉  
b. **太郎**<sub>主題</sub> 在 教室。〈既知の「太郎」について述べる〉

# 「主題」と文の情報構造

- (25) a. 1人の客が<sub>非主題</sub> 来た。〈旧情報なし〉  
b. 来了 一个 客人<sub>非主題</sub>。 〈既知ではない客の存在を述べる〉  
来た 1人 客
- (26) [来る予定の客の姿が見えた]  
a. 客が<sub>非主題</sub> 来た。 〈旧情報なし〉  
b. 客人<sub>主題</sub> 来了。 〈既知の「客」について述べる〉
- (27) [来る予定の客が来ているかどうか聞かれて]  
a. 客は<sub>主題</sub> もう来ている。 〈「客」が文中の旧情報〉  
b. 客人<sub>主題</sub> 已经 来了。 〈既知の「客」について述べる〉  
すでに

# 「主題」と文の情報構造

(28) **我们**<sub>主題</sub> 到了 北京站。〈既知の「私たち」について述べる〉  
私たち 着いた 北京駅 (澤田・中川2004、p. 38)  
(**私たちは**<sub>主題</sub> 北京駅に着いた。)

(29) [列車の車内アナウンス]

**北京站**<sub>主題</sub> 到了。〈既知の「北京駅」について述べる〉 (同上)  
北京駅 着いた  
( (目的地である) **北京駅に**<sub>非主題</sub> 着いた。 )

# まとめ

- I 日本語も中国語も「主題中心」の言語。  
主題を持つ文と主題を持たない文が文法的に区別される。
- II 日本語も中国語も「焦点中心」の言語ではない。  
焦点を持つ文と焦点を持たない文の区別は、文法的には明確ではない。
- III 日本語と中国語では「何を主題にするか」が異なる。  
日本語：文の情報構造において旧情報の部分。  
中国語：叙述の対象となる、名詞句レベルで既知のもの。

# 参考文献

王亞新(2021)「“是…的”構文」『中国語学辞典』 pp.19-20、岩波書店

木村英樹(2021)「定」『中国語学辞典』 pp.429-431、岩波書店

澤田浩子・中川正之(2004)「中国語における語順と主題化—主題化とその周辺の概念を中心に—」『主題の対照』 pp.19-42、くろしお出版

朱德熙（杉村博文・木村英樹訳）（1995）『文法講義—朱德熙教授の中国語文法要説』白帝社（原著：朱德熙（1981）《语法讲义》商务印书馆）